



# うめがおか

考える子 元気な子 助け合う子

世帯数配布  
美浜町立河和小学校  
学校だより  
令和7年3月11日  
令和6年度最終号

## 自分に誇りをもって今を生きる

1月、幸せに暮らすための業を身に付けるために「今の自分の少し上を目指す」という話を朝会でしました。「今の自分の少し上、比べる相手は自分です。人ではありません。人と比べて良いのは、その人を目標にして自分を高めることができる時です。その人と比べて自分はダメだと思ったり、人のことをダメだと思ふことはしてはいけないと私は思っています。」と伝えました。

2月、「できる、どう解く?」と題した授業で、「得意なことを伸ばすのと苦手なことをなくすのはどちらが大切なんだろう?」について5年生が考えていました。子どもたちは自分を見つめ、自分なりの納得解(自分が納得する答え)を見つけるため、友達の意見も聞きながら真剣に考えました。得意を伸ばすと将来役に立つ、努力していることに変わりないからどちらも大事、人それぞれ、苦手をなくすと達成感がある、など様々な意見が出ました。どちらにも共通することとして、「努力すること」や「頑張ること」の必要性にも気づくことが出来ました。「やる気」が違うなど得意を伸ばすことと苦手をなくすことの違いにも気づきました。また、「得意を伸ばすことや苦手をなくすことでどんな自分になるだろう」の問いに、「カッコいい自分」「自分の力でやりきる自分」「挑戦できる自分」など努力した先の自分の姿をイメージすることが出来ました。



子どもたちの考えを聞きながら、子どもたちの成長を嬉しく思うと同時に、私も「得意を伸ばすこと」と「苦手をなくす」ことについて改めて考えました。子どもの意見にもあったように、人それぞれで良いのではと思います。ただ、人はだれでも苦手なこともあるもので、苦手を自覚して人に頼ることも必要だと思います。そして何より大切なことは、「自分に誇りをもって今を生きる」ことだと考えました。そのために「今の自分の少し上を目指して」いきたいと思っています。

「1月往ぬ2月逃げる3月去る」と言われるように、時が過ぎるのも早く、今年度も残りわずかとなりました。この1年も、子どもたちと多くのことを学ぶことができました。子どもたちの可能性は無限大です。そんな子どもたちと共に過ごすことができたことを嬉しく思っています。

最後に、本年度も保護者の皆様、地域の皆様、河和小学校に関わってくださった全ての皆様に支えていただきました。皆様のおかげで、子どもたちの成長を喜ぶことができることに感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。

校長 山中 信子

4月の行事予定			掃除
1	火		/
2	水		/
3	木		/
4	金		/
5	土		
6	日		
7	月		/
8	火	入学式	/
9	水	始業式 通学団会	/
10	木	4時間授業(1年3時間) 給食開始(2~6年)	/
11	金	4時間授業(1年3時間) 知能検査(2・4・6年)	/
12	土		
13	日		
14	月	4時間授業(2~4年) ⑤委員会(5・6年) 1年3時間~16日(水) 学力テスト国語	/
15	火	5時間授業(2~6年) 学力テスト算数 学力テスト英語(6年のみ)	/
16	水	5時間授業(2~6年) 清掃開始	○
17	木	全国学力学習状況調査 国語・算数・理科(6年) 給食開始(1年) 1年4時間~22日(火)	○
18	金	⑤⑥スナックゴルフ講座 (6年)	○
19	土		
20	日		
21	月	オンライン朝会 口座振替日 ⑤眼科検診(全学年)	○
22	火	午前40分授業 地震避難訓練	○
23	水	交通教室(1・2年) 1年5時間授業開始	○
24	木		○
25	金	PTA総会 授業参観 修学旅行説明会 野外教育活動説明会	○
26	土		
27	日		
28	月	⑥クラブ(4・5・6年) 交通教室(1・2年)予備日	○
29	火	昭和の日	
30	水	4時間授業 自宅確認	○
5/1	木	4時間授業 自宅確認	○
2	金	4時間授業 自宅確認	○

今後の状況により変更することがあります

## あさひまフェスティバル

2月4日(火)と5日(水)の10時から11時はあさがお、ひまわりの各教室で「あさひまフェスティバル」が行われました。あさがおとひまわりの児童が、2学期の終わり頃から魚釣り、射的、的当て、コマ、輪投げ、ポウリング、ダンスなどの企画を考えます。参加者が各企画を楽しむためのルール作りやウエルカムボード、各ゲームの用具、賞品などの全てを自分たちで制作します。また、ルール説明や各企画ブースのナビゲートなどの役割分担も行います。当日は、ルールやゲーム器具の説明、得点の集計、景品の受け渡しなど各児童が役割を果たそうと奮闘していました。



「企画を立ち上げ、必要な物品を作り、参加者に対応し、お互いに楽しむ」という、「運動会」や「学習発表会」とも違う「あさひまフェスティバル」の活動は大成功でした。

## ようこそ先輩！

2月7日(金)に元新体操団体日本代表(フェアリージャパン)選手の竹中七海さんが来校し、6年生の児童に向けて特別授業を行ってくださいました。竹中さんは、2017年世界新体操選手権大会団体総合銅メダル、2019年世界新体操選手権大会団体総合銀メダル・種目別ボール優勝、2021年東京2020オリンピック団体総合8位などの戦績をもち、まさに世界レベルの選手です。

来校すると体育館でウォーミングアップをして、6年生に演技を披露していただきました。また、新体操の手具(フープ、クラブ、ボール、ロープ)を貸していただき、競技の体験をすることができました。

「夢は絶対に叶う、叶えてやる！」と挑んだパリオリンピック最終予選で、あと一步届かず、参加ができなかった経験を語っていただきました。「夢を追っても辛い経験や、叶わない現実があると、夢をもたない方がよいと考えるかもしれません。でも私は、夢は絶対にもった方がいいし、これからも夢をもちたいと思っています。必ず叶うとは言えないのに、なぜかという、夢をもち自分で決めて挑戦した結果、夢が叶わなかったとしても、それは失敗ではなく経験となります。挑戦したからこそ、見える景色があります。」と6年生に伝えていただきました。

超一流のアスリートでありながら、その立ち居振る舞いは人を圧するものではなく、児童の無邪気な質問やサインにも快く応じていただきました。竹中さんは3年生まで河和小学校に在籍し、1年生の担任は今の6年2組担任の志村美知子先生でした。



## 妙高市立新井北小学校とのオンライン交流

2月12日(水)に3年生の児童が新潟県妙高市の新井北小学校の児童とオンライン交流会(インターネットでWeb会議システムやイベントツールなどを介してコミュニケーションすること)を行いました。今回は、総合的な学習の時間で調べたり、校外学習で見学したりした美浜町の寺社や仏閣、施設や店舗、農産物や海産物などをもとに「美浜町のおすすめの場所」として紹介しました。



河和小の「魚太郎」「つくだ煮街道」「野間大坊」「ジョイフルファーム鶉の池」「えびせんべいの里」「美浜運動公園」「河和小の学校紹介」に対して新井北小は「妙高の自然(雪国の四季)」「苗名滝(日本の滝百選の一つ)」「かんずり(妙高の唐辛子と糍、柚子、海の塩を材料にした発酵調味料)」「七五三の湯(7つの温泉地、5つの泉質、3つの湯色からなる妙高原温泉郷)」「松茶屋(ラーメンの名店)」「新井北小の学校紹介」などが発表されました。総合的な学習の時間でありながら、お国自慢合戦の雰囲気も加わって、楽しくお互いの市町の良さを伝え合うことができました。途中、インターネット回線の不具合で映像や音声途絶えることがありました。数分後、回復したディスプレイの画面に向かって手を振る児童の様子から、不具合が起きたからこそお互いの距離が縮まったような感覚がありました。

交流後のワークシートには「またいっしょに勉強できる機会があるといいなと思いました」「妙高市の発表を聞いて、もっと美浜町のいいところをたくさん紹介したくなりました」などの言葉が書かれていました。

## ありがとう集会

2月28日(金)に「ありがとう集会」が行われました。「ありがとう集会」は卒業を間近に控えた6年生に向けて、1年生から5年生までが感謝の気持ちを伝える会です。

最初の3年生は流行歌をBGMにダンス、2年生は昭和の卒業ソングを取り入れた歌とダンス、4年生は今の6年生が2年生の運動会で踊ったダンスとメッセージボードの披露、1年生は振り付けをしながらの呼びかけと6年生個々へのお手紙贈呈など各学年が趣向を凝らして「ありがとう」を伝えました。学校生活をモチーフにした5年生のコントも会場の笑いを誘いました。さらに5年生は全体の司会進行や6年生の思い出のスライドの上映に加え「大切なもの」の合唱を披露しました。6年生も「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」の合唱で1年生から5年生に向けて「ありがとう」の気持ちを返しました。そして校旗引き継ぎ式、「スマイルアゲイン」の全校合唱と続けました。

1年生から4年生の演技への手拍子や歓声から、5年生と6年生の歌声を聴き入る静けさに変える雰囲気を、児童自らが創り出していく感動的な会となりました。

